



▲特選「化身」山崎 静香



▲褒状「帰り道」岩井 美知子



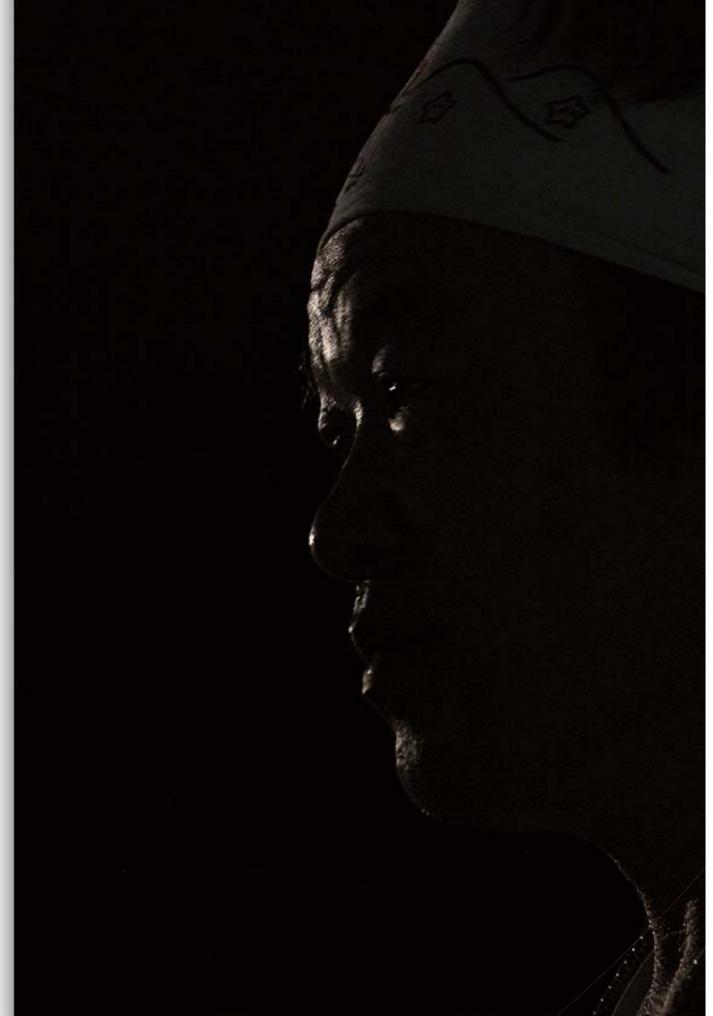
▲褒状「ご苦労さん」前田 鈴代



▲褒状「夕照」横山 豊



▲褒状「狙う」前田 三興



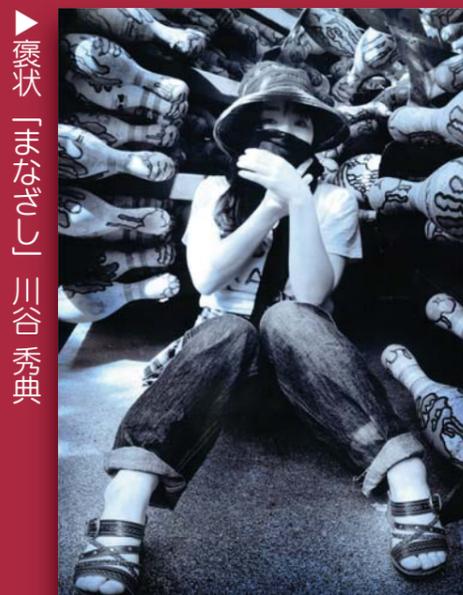
▲特選「無心」明石 正



▲褒状「繕う」岡村 雄策

芸術祭 入賞作品

※写真の審査は津野廣幸氏



▶褒状「まなざし」川谷 秀典



▶特選「末路」野村 初枝

短歌会・俳句会

【短歌会】（選者 岡崎桜雲氏）

特選 若き身を緩和ケアにゐる女の病は言はず共に空見る 都築 初代

特選 猫じゃらしふた本手折る峡の道 揺らせば風がクスリと笑う 吉本 悦子

褒状 早苗また稲束を背に徒歩たりし 石の橋いまは猪渡すのみ 大岸由起子

褒状 葉も茎も今年小さきりゆうきゆうに 明けの一雨のつゆ輝けり 佐々木真里

褒状 裸児の物部の岸にはやもあり 釣竿を手に友を呼ばへり 古川 安子

褒状 つまみ食い防ぐ為にと指切られ 暮しし奴隷の家も見たりき 宮地 亀好

褒状 先生の坐す如くに咲きほこる のうぜんかつら天をめざして 古谷 由美

高ポイント賞 月の無き今宵の吾は仁王立ち 蜂の巣取りてしばし興奮 前川 竜女

【俳句会】（選者 山本呆齋氏）

特選 大西瓜入れて膨らむ冷蔵庫 乾 真紀子

特選 ひと雨に上着をはおる初秋かな 森田 菊恵

褒状 コルセット束の間外す残暑かな 山中 節子

褒状 戦友席に老婆がひとり震洋忌 佐竹 洋子

褒状 名月を見上げる路地の鼠かな 榎谷 雅道

褒状 遠き日よ七人も居た涼み台 西内 道彦

高ポイント賞 戦無き七十一年涼新た 馬場 英男
利根 弘子